

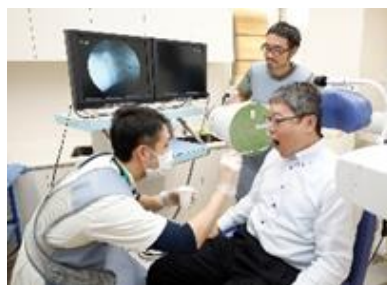
感染対策を見直した嚥下機能の評価

嚥下造影検査とは、バリウムなどの造影剤を含んだ食事をX線透視化で食べてもらい、どのように口から胃へ運ばれていくか一連の流れを動画で評価します。

当院では、入院中の患者さんの食事の形や姿勢の角度、一口量などを詳細な嚥下機能の評価を経て調整しています。

嚥下造影検査中はマスクを外し、ムセ込むこともあるため、飛沫感染のリスクが高いです。その為、コロナ禍になり従来の感染対策の見直しが必要でした。検査の実施時はフェイスシールド、ビニールエプロンの着用をしたり、検査中や待機時に密にならないような配慮を行う等の新たな対策を行い感染リスクの軽減に努めました。2022年2月現在では、年間の検査数もコロナ禍以前のように戻っています。

【従来の嚥下検査の様子】



【感染対策された嚥下検査の様子】



豊田えいせい病院
リハビリ新聞



2022年
2月25日
第34号

来年度から新しい加算を取得！

豊田えいせい病院訪問リハビリは、令和4年度から「事業所評価加算」の基準適合事業所となります。令和4年度では県内（政令指定都市静岡市浜松市を除く）では、4つの訪問リハビリ事業所しか算定できない厳しい加算です。

事業所評価加算とは・・・

昨年度の関りにおいて要支援者を維持または向上させた割合が高い事業所のみ算定することができる加算です。

当院では、リハビリの質にもこだわり、利用者様が豊かな生活を送ることができるようにこれからも支援していきたいと思います。



【通所リハビリテーション科職員紹介】

- 理学療法士3人・事務員1人
- 介護職員10人
- ※介護福祉士8人



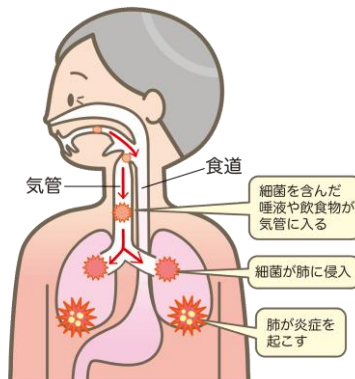
リハビリ小ネタ

口まわりは大切 シリーズ⑥

今回は【誤嚥性肺炎】についてです。厚生労働省の平成28年度の報告では、**死亡原因の第3位が【肺炎】**。肺炎患者さんの約7割が75歳以上の方。そのうち7割以上が【誤嚥性肺炎】です。

～誤嚥性肺炎とは～

唾液や食べ物をうまく飲み込めず、気管を通じて肺に入り炎症を起こす病気



【症状】

発熱
咳
濃い色の痰
食事のむせや咳がよくみられる
元気がない
体がだるい
食欲がない 等々

飲み込みに不安がある方は、当院へご相談を！

豊田えいせい病院 診療技術部

回復期リハビリ科 TEL: 0538-34-6123 FAX: 0538-34-6231
療養リハビリ科 回復期リハビリ科と共通
通所リハビリ科 TEL: 0538-34-6223 FAX: 0538-34-6222
訪問リハビリ科 TEL: 0538-34-6137 FAX: 0538-34-6231